

# 週刊 勤勞タイムス

毎週日曜日発行  
定例 月二十五日  
一年二百五十日  
廣告 一行五十日  
場所指定 二十四日  
印刷部 印刷部  
編集者 松原義一  
印刷者 松原義一  
印刷所 松原義一

平市五丁目  
**釜屋商店**  
電話九番九番九番

## 政の 黒幕を衝く

### 暴露された土地問題の真相

醜態極まる一部少数の盗賊、戦犯、ダラ、ボス議員共の理不盡なる抑壓と欺瞞的支配の下に呻吟する此處「ボスの町」石城郡小名濱町も突如去る三日小名濱革新民主同盟主催の下に開催された町政批判討論會に於ける参加町民は一千有余に及び狂熱的盛況裡に白熱的論争が展開されたが會中ば兼ねて町政改革派の急先鋒と目される飯塚新四郎町議によつていみじくも白の下に摘發暴露された町議小野務平氏に於る土地不正買収問題を契機に「町政を虫喰むダラボスは斷乎叩き切るべし」と満場轟然結果茲に増悪すべき全町民の敵、民衆の敵、小名暗黒町政三羽鳥の頭目現町有財産處分委員長兼町議いわき報小名濱支局の實質的レポーターと云はれる小野務平氏並にその一派の悪疾業状の數々は彼等グループ必死の欺瞞宣傳策動もそう効せず強力なる民衆の總意には全く敵し難く今正に崩壊の寸前にあるものと見られる。

### 町有土地

プロローガの真相  
去る八日開催された所謂調査何かとの相談に源吾氏も再氏同伴の上務平氏宅に訪問の間會と稱する其の實、特別者を約して一先づ見合せたが突如か開會と同時にいわき民吾氏宅を訪れ觀望これに努めて六千五百圓也を義一報紙上の英雄自稱全小名町めたものがこの場合町の、源吾兩氏宅に持参表面無事このプロローガ一行爲も成上の問題と稱して辭職勧誘り二百圓の高値の五百圓以功程に結末を告げたかに見えたが六月中旬意外にも町當局より督促状がマイ込み「ガク然」としたが町有財産處分委員長たる務平氏より已に利潤の配當迄あつた事でもあり其の儘放置して置いたものと云つてゐる。然らば務平氏は之を誰に賣り付けたが問題であるが已

### 小野務平氏

テマ宣傳のカラクリ  
去る十一日付いわき民報第...した結果關係者が虚構の説に町有土地不正買収問題に...の利潤に遂承諾、三月十日偶々

談した處已に其の土地は務平氏より義一氏に對し再三譲渡依頼を受けたが當時の義一氏には町解放地以外の保有地とてもなく躊躇して居た處前記源吾氏同様務平氏は坪二百圓以上の利潤を約束しものだが坪二百圓は誠に結構であるが兼て不安に思はれて居た町への支拂代金を納入する事が容易でない旨相談した結果務平氏は君はビター文立替る必要がなく相手方買受人が全部町に遂承諾源吾氏共々務平君の處に持参するとの好條である、然も當日の意氣消沈、シドロモドロの務平氏のテイタラクは誠に池部均書くところの「マンガ」そののけであつたとは笑止の限

### 馬脚を暴した 務平氏のトリック

小野務平氏いわき民報への發表の如く誠に飯塚議員が務平氏に對し陳謝した云々は全くのナンセンス的デマである、然も當日の意氣消沈、シドロモドロの務平氏のテイタラクは誠に池部均書くところの「マンガ」そののけであつたとは笑止の限

### 記者四五名募集

平市大町八  
勤勞タイムス社

この對手が鴨草野某なる両氏に賣却したものであるがこれは他く迄務平氏個人の折衝であり再び松原氏の全くあすかり知らぬ事でもある又風聞によれば坪壹千圓近くの高値であつたと云はれる。

一、松原義一の處には二三度訪問した事がある、之は土地賣却代金を催促に行つた(こゝでプロローガの馬脚を暴露)これに對 (以下二面へ)

一、松原義一の處には二三度訪問した事がある、之は土地賣却代金を催促に行つた(こゝでプロローガの馬脚を暴露)これに對 (以下二面へ)

一、松原義一の處には二三度訪問した事がある、之は土地賣却代金を催促に行つた(こゝでプロローガの馬脚を暴露)これに對 (以下二面へ)

一、松原義一の處には二三度訪問した事がある、之は土地賣却代金を催促に行つた(こゝでプロローガの馬脚を暴露)これに對 (以下二面へ)

